

# 赤い靴通信 414号

昭和45年と言いますから50年ほど前、100歳の方は310人であったのが、今年の老人の日には86、510人だそうです。正に人生百歳時代になりました。私どもの女性合唱団「ザ・シワクチャーズ横浜」に今年100歳になられた蒲田（かつきた）敏子さんがおられ、矍鑠としてレッスンに通っていらっしやいます。私たちにとっては大変な誇りです。敬老の日が来ますと私はシワクチャーズのレッスン日には必ず100歳以上の方の人数を発表しておりますが、このところ急ピッチでその数を増やしております。実は私どもの初代理事長川口正英先生（元横浜市会議長）は103歳、作曲家で事業団のトップリーダーであった高木東六先生は102歳で逝去されました。私も106歳を目標にしていると言語してはいますが道遠しです。いろいろな条件が変わってきて、食事や医療の進歩などでまだまだ増えるでしょうね、楽しみです。また同じ新聞のニュースで世界で最も影響を与えた100人の中に3人の日本人が選ばれていました。これはアメリカのタイム誌から毎年発表されるのですが、「テニスの大坂なおみさん」「建築家の隅研吾さん」そして「日米で大人気の「野球の大谷翔平さん」です。

大坂なおみさんは数年前から余りにも有名な方で、世界の著名な大会で高成績を上げています。また隅先生は日本的な素材を生かしてのアイデアで、この度のオリンピックでは全世界の建築家の賞讃を受けています。彼は横浜生まれ、生家は大倉山で私たちと同郷です。大谷選手はベールブルースの記録と比べられるくらい投球も打撃も盗塁も超凄いですね。人柄もいいし、グラウンドに落ちていたゴミを拾ってズボンのポケットにさりげなく入れる姿には好感が持てました。

1934年ベールブルース一行は日米野球のために船で日本に来ました。彼等は横浜で日本のチームと試合したのです。ベールブルースとゲリックなどのホームランで21対4の結果となり全日本は完敗でした。戦後横浜球場は暫く「ゲリック球場」と米軍が名付けたのですが、日本人は使用出来ませんでした。その後「太平洋対南海」の試合があつて、私も観戦を楽しみにチケットを買ったのですが、主催者の役員に頼まれてお客さんの整理に終始したことを思い出します。その後球場は太平洋ホテルズを川崎から迎える為に球場の改装に入りました。その折、お仕事としてベールブルースとルーゲリックの鉄のレリーフを受注しました。現在そのレリーフは両サイドのホームランボールの足下に張っております。やがて太平洋ホテルズから「横浜ベイスタース」に変わります。その前に球団の社長に会って「横浜レッドシユーズ」も考えてくださいと申しあげましたが、時すでに遅かったです。でもその後の開幕式に500人の子供のダンスショーを頼まれ、子供たちに呼びかけ特訓をし、対阪神戦のオープニングに華を添えました。その後赤い靴ジュニアコーラスが試合前に国歌を斉唱し大きな拍手を頂きました。

さて、筒香選手が横浜ベイスタースからメジャーのレイズ、ドジャースに行き、負傷者リストに入って退団し、バイレーツに拾われてから俄然持つ力を発揮し、ホームランを連発、現在四番の主力打者席で期待されています。よかったですね。多くのファンが早く横浜へ帰ってきてと



音楽劇「赤い靴の絵本」舞台風景

## ～中区音楽遊々～

日時：12/18(土) 15:30～17:30 場所：関内ホール・小ホール  
料金：大人1,200円 小人800円  
出演：ジュニアコーラス(ATF・青隊・赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)、横浜☆男声合唱団  
元町いぶし銀ゴスペル、横浜シニアゴスペル・ジーバース  
横浜市民子どもミュージカルキッズ、音楽劇団まっかなホント  
琵琶・馬頭琴演奏 室井三紀・美炎

言っていたのですが、所変われば技変わるですね。事業団の事業もコロナ禍の影響で練習も時間短縮などで工夫しておりますが、イベントは市のガイドラインを守り継続しています。多くのイベントが中止される中において2月の「横浜市民ミュージカル」、5月の「こどもの日コンサート」、6月の「赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会」、7月の「中区ダンスフェスティバル」、8月の「横浜市民子どもミュージカル」、9月の「音楽劇・赤い靴の絵本」などを幸運なことに無事に開催できたのです。

実は長い歴史のある「中区合唱祭」ですが、今年は11月14日横浜市開港記念会館で開催の予定でしたが、寸前で中止になりました。そして会館はその後2年半に亘って工事が続くので次の合唱祭は何と3年後の開催になると言います。今年の合唱祭には赤い靴ジュニアコーラスと横浜☆男声合唱団が申し込んでいました。その他にも例年参加をしていた中区の「ハローよこはま」、「東京湾大感謝祭」などの秋のイベントは2年越しで中止になっていきます。この状況に私たちが出来る事をと関内ホールに相談したところ、12月18日・土曜日の小ホールが使用可能であり、私共のイベントに賛同して、共催事業としての開催を承認してくれたのです。

この企画は赤い靴スタジオで練習をしている人たちが、すなわち合唱では「赤い靴ジュニアコーラスのあかいくつテンダーフット・青隊、赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの全員」・「横浜☆男声合唱団」・「元町ローゼス」、「元町いぶし銀ゴスペル」、「横浜シニアゴスペル・ジーバース」、歌とダンスで「横浜市民子どもミュージカル」、「筑前琵琶と馬頭琴による宮澤賢治作品の演奏と語り」、「先日の公演が大好評だった音楽劇団「まっかなホント」による音楽劇「赤い靴の絵本」で構成した・題して「中区音楽遊々」のイベントを開催することにいたしました。

10月1日に緊急事態宣言が解除になり、現時点では100%お客様を迎えられる事になります。活躍の場が少なかったこの2年間の練習の成果を発揮出来る場所として、出演者ご家族の皆さまにはぜひ楽しんで頂けたらと思っております。これに続き今年最後のイベントは12月24日・25日インターコンチネンタルホテルでの赤い靴ジュニアコーラスによるクリスマスキャロルです。こちらにもぜひ足を運びください。

2021・9・30 団長 松永 春

### 今後のスケジュール

★12/18(土)「～中区音楽遊々～」  
場所：関内ホール・小ホール  
時間：15:30～17:30  
出演：赤い靴ジュニアコーラス  
ATF・青隊・赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ  
横浜☆男声合唱団  
元町ローゼス  
元町いぶし銀ゴスペル  
横浜シニアゴスペル・ジーバース  
横浜市民子どもミュージカルキッズ  
「宮澤賢治作品」琵琶・馬頭琴演奏  
室井三紀・美炎  
音楽劇「赤い靴の絵本」  
原作 松永春  
音楽劇団まっかなホント

★12月4日(金)・25日(土)  
クリスマスキャロル  
場所：ヨコハマ グランド インター  
コンチネンタル ホテル 1階  
アトリウム  
出演：赤い靴ジュニアコーラス  
時間：各日 18:00・18:15

★2022年  
2月12日(土)・13日(日)  
横浜市民ミュージカル  
大船撮影所誕生85周年記念  
「忍 SHINOBI」  
場所：関内ホール・小ホール  
2/12 1回目公演  
2/13 2・3回目公演  
全3回公演

※「～横浜遊々～」「忍 SHINOBI」の詳細は後日